

鬼の館開館30周年記念誌



目次

館長あいさつ	2
市長寄稿	3
市議会議長寄稿	4
教育長寄稿	5
北上市立鬼の館の概要	6
20周年から30周年までのあゆみ	8
30周年記念事業（6月）	10
30周年事業（その他）	12
鬼学講座	13
芸能公演	14
大乘神楽大会	16
企画展・特別展	18
刊行物	20
わんぱく講座	22
鬼ッズ・プレイミュージアム	23
福豆鬼節分会	24
資料受入状況、改修工事	25
利用状況	26
北上市立協議会歴代委員、歴代館長	27

表紙：「おにおにアート」は、令和5年度に市内17カ所の学童保育所の児童に折ってもらった折り紙を使って制作した作品で、令和6年4月に完成

裏表紙： エントランスホール両脇の鬼面は、利根山光人記念美術館主催の鬼の館とのコラボ企画「鬼のモニュメントリニューアルプロジェクト」により制作され、令和6年5月に完成

開館30周年にあたり

北上市立鬼の館

館長 後藤 幸生



鬼の館が開館して30年経ちましたが、「鬼」というテーマの当館を30年間支えてきてくれた方々全員に感謝申し上げます。皆様のお陰で、全国、いや全世界に「ONI」という様々なイメージや深い意味を届けられてきたと考えております。

最近この「鬼の館」の役割はいったい何であろうかと考える時があります。ただ鬼に関する資料を展示し、来館者自身へ鬼の一考を求めるのか、また子供たちへのワークショップを開催し、鬼への愛着を育てていくのか。

鬼は古来より日本の歴史や文化、民間伝承の中で重要な役割を果たしてきました。恐れられる存在でありながら、時には人々を守る神聖な存在として語られる鬼でありました。その多様な姿と深い意味を学ぶことは、私たちの源流にある日本文化を深く理解することに通じ、自身の深層にある真のわたしを見つけ出すことにつながるのではないかと考えました。

更には将来対応しなければならない漠然とした不安に立ち向かうには、鬼の持つしたたかな変化や柔軟な振る舞いが必要であり、現在の私たちが見習うべきことが多くあるのではないかと考えております。私たちの生きる道しるべとして一役を担うべく当館が存在し、この北上という地から世界へ「ONI」という視点で、一步一步未来へ進むことができる力を感じ取ってもらい、背中をそっと押してもらうために。

マンガ好きで「鬼滅の刃」や「呪術廻戦」など鬼に通じるコミックを読んでは、鬼の館が有名になり、来館者が増えればいいなあと思ったり邪な考えしか浮かんでこない小生でしたが、鬼に囲まれて暮らしているうちに、彼らから無言の圧力がかかり、性根を入れかえなさいというメッセージが頻繁に届き、やっとのことで前出の考えに至ったわけでした。

オニ、鬼、ONIと、おに三昧の毎日ですが、展示されている彼らは毎日表情を変え職員の仕事ぶりをしっかりとチェックし、また来館者を温かく見守っております。最近やっとな、本当はほっこりと温かい彼ら家族の一員になれたなあと思ってきたところであります。

鬼の館という家族が一丸となってこれからも皆様をお待ちしておりますので、今後とも末永く宜しくお願いいたします。

開館30周年を記念して

北上市長 八重樫 浩 文



鬼の館は、旧・北上市、和賀町、江釣子村が合併してから約3年後の平成6年6月に開館し、以来、鬼剣舞をはじめとする鬼文化を発信する施設として、多くの方々に支えられながら30周年を迎えることができました。改めまして当館の運営に御支援下さいました皆様に深く感謝申し上げます。

この10年間を振り返るに当たって、鬼剣舞が風流踊の1つとしてユネスコ無形文化遺産に登録されたことは、北上市にとっても大きなトピックです。鬼剣舞の育成・継承・普及に尽力されてきた保存団体の皆様に改めまして深く敬意を表するとともに、心より感謝申し上げます。

日本では「鬼ブーム」と言えるような鬼に関する漫画やアニメの作品が定期的に流行するといわれています。最近の鬼ブームの中で最も象徴的だった漫画作品『鬼滅の刃』は、2016年の連載開始から2019年のアニメ化、そして2021年には映画が大ヒットし、社会現象になりました。

鬼に対する関心が世間で高まったことにより鬼の館も注目される機会が増えましたが、2020年3月に新型コロナ感染対策による緊急事態宣言が出されたことにより、以降の約3年間は芸能公演や福豆鬼節分会等のイベントの中止や観客の制限といった措置が余儀なくされました。

一方で、鬼は元来、目に見えない存在を指したことから、新型コロナウイルス（疫病）と鬼の関係性が注目されるようになりました。

また、鬼剣舞は五大明王の化身で、人々に幸福や安寧をもたらす鬼として伝えられておりますが、踊りの足の動き「反閤（へんぱい）」は悪霊を鎮める意味合いがあります。このことでイベント開催への制限があるなかでも、反閤による疫病退散を目的とした鬼剣舞公演が開催されました。結果的にコロナ禍は、鬼への関心や理解を深めるといった作用をもたらし、コロナ禍が過ぎた後には来館者が回復し、開館30周年を迎えた令和6年度は20年ぶりに年間来館者数が3万人を達成いたしました。

鬼は目に見えないものや現象に対する恐怖や畏敬の念であり、また『鬼滅の刃』の物語に見られるように、鬼は憎しみや怨みなどといった感情が具現化された姿でもあります。しかし、鬼は人々にとって悪い存在としてだけではなく、ときには鬼剣舞のように仏の化身として悪いものを追い払うなど良い存在して現れることもあります。様々な姿の鬼が存在するということは、これまでに当館が展示のコンセプトとして伝えてきたことです。

デジタル化社会が飛躍的に進んだ現在においても、鬼という存在は消えるどころかむしろ肥大化し、心の奥底を、あるいはオンライン上を跋扈しながら人々の興味を引き寄せて止むことはありません。人が存在する限り鬼は存在し続けます。皆様の鬼への関心に対してより一層お応えすることのできる施設であるよう、これからも一層努めて参りたいと思います。

鬼の館開館30周年記念誌の 発刊に寄せて

北上市議会

議長 菊池 勝



北上市立鬼の館開館30周年記念誌の発刊に当たり、北上市議会を代表いたしまして、ご挨拶を申し上げます。

北上市立鬼の館は、平成6年6月に、全国的にも珍しい鬼をテーマとした博物館として開館以降、鬼にまつわる資料の展示を通して、北上の民俗や文化を伝え、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与してまいりました。

この間、30年の長きにわたり運営を支えて来られた関係者の皆様の御尽力に対しまして、深甚なる敬意を表するものであります。

鬼の館では、常設の資料展示と併せ、様々な企画展、体験会、そして鬼剣舞をはじめとした芸能公演も開催されており、期待される教育や学術の振興が図られておりますのはもちろんのこと、夏油高原温泉郷、夏油高原スキー場までのアクセス道路に面する立地から、北上の魅力を発信する観光資源としても、その役割を担っております。

毎年2月に開催されます福豆鬼節分会では、地元の団体である「虹色の会 絆」が中心となり「福はうち！鬼もうち！」の掛け声で鬼を呼び込むユニークさと、併せて開催される様々な企画や演出が大変人気となり、毎年多くの方に来場いただいております、私も楽しく参加させていただきました。

また、開館から30周年を迎えた令和6年度は、鬼の歴史や文化について、更に興味、関心が深まるよう多くのイベントが開催され、市民憲章にある「鬼すむ誇り」を皆様にも認識していただけたのではないのでしょうか。

30周年を節目としまして、これからも、教育、学術の中核として市民に親しまれ、楽しく学べる鬼の館であり続けますことを期待するとともに、今後ますます来館者が増え、北上の魅力を広げる施設となりますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

鬼の館30周年に寄せて

北上市教育委員会

教育長 船 田 浩



令和6年6月に鬼の館は、30周年を迎えることが出来ました。これまでご来場いただきました皆様、また、当館の活動にご協力くださいました皆様に心より感謝申し上げます。

さて、鬼の館は、3市町村合併以前の旧・和賀町が策定した「鬼と平和の町づくり事業」に基づいて計画が進められ、合併後の平成6年6月に開館しました。以来、貴重な資料の収集や展示、主に子どもたちを対象にした教育普及活動及び民俗芸能公演の開催など様々な事業を行ってまいりました。この様な取り組みを進める中で、民俗芸能公演にご出演いただいております鬼剣舞が全国に伝わる風流踊の1つとして令和4年にユネスコ無形文化遺産に登録されたことは大変喜ばしいことであり、関係団体の皆様におかれましては、心よりお祝い申し上げます。

この10年で鬼の館を取り巻く環境も少しずつ変化しました。鬼の館は博物館法に基づく施設として位置付けておりますが、約70年ぶりに改正され令和5年4月から施行された博物館法では、デジタルアーカイブの作成や資料公開の明確化といった内容が新たに加えられるとともに、社会教育施設と文化施設との双方の役割を併せ持つ施設として活動することも求められております。このことを受け、今を生きる私たちの使命として、当館で保存している資料を市民憲章にうたわれている「鬼すむ誇り」につなげ、シビックプライドの醸成を図るための展示やイベントを開催してまいりたいと考えております。

「鬼」の歴史を知ることで現在を見つめ、未来を考える場として、当館は次の10年を見据えながら、より魅力的で開かれた施設を目指し、鬼文化の継承とともにデジタル化やオンライン化といった現在の課題にも対応できるよう、取り組んでまいります。

これからも当館が地域の文化の拠点となり、皆様に親しまれる施設であり続けられるように努めてまいりますので、今後とも変わらぬご支援をくださいますよう、心よりお願い申し上げます。

北上市立鬼の館 概要

建設までの歩み

平成3年4月1日、北上市・和賀町・江釣子村の3市町村が対等合併し、新北上市が誕生しましたが、合併前の昭和63年旧和賀町において、第4次和賀町総合開発計画の重点プログラムとして「鬼と平和の町づくり事業」が策定されました。

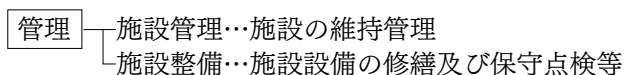
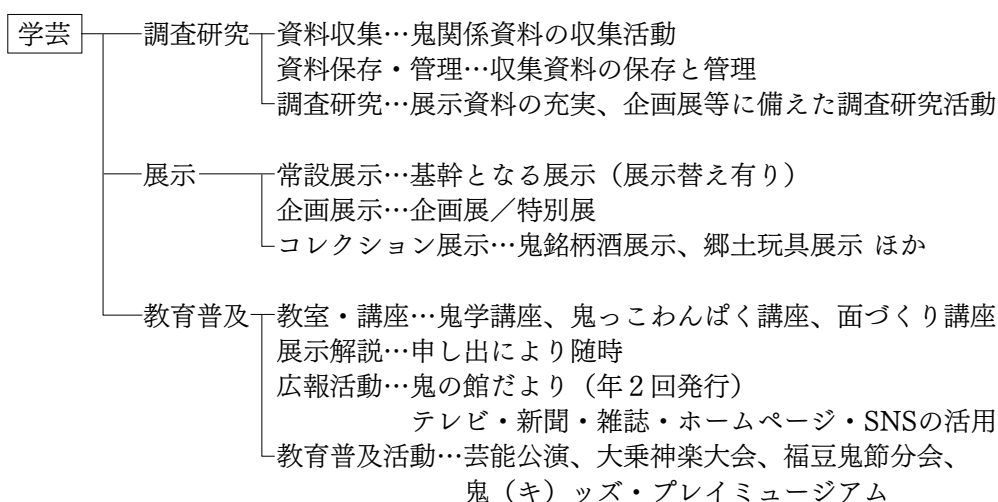
この事業は、和賀町が、岩手の代表的な民俗芸能「鬼剣舞」の発祥の地であり、鬼剣舞の鬼は、仏法に帰依し、仏の化身といわれ、天下泰平、五穀豊穰、悪魔退散と万民の幸せを願っている善鬼としてまちの誇りであり象徴ととらえられていること、町を東西に横断する国道107号が、かつて和賀と秋田県平鹿郡を結ぶ主要路線であり、その頭文字の、「平」と「和」をあわせて平和街道の愛称で親しまれ、町の動脈として町勢の発展を担っていることなどの背景を踏まえ、鬼のもつユニークさやおもしろさをいかした町の活性化を目指し、地域の文化の見直しと、平和で幸福な町づくりを推し進めようとするものでした。

その後、ふるさと創生事業を取り入れ町民から広くアイディアを募集したところ196点の応募があり、審査員も町民から募集して町職員2名を含む9人で審査を行いました。

その結果「鬼の館」をシンボル施設としてプランの中核にすえた案が採用され、「鬼と平和の里づくり事業」と名づけられました。計画の具体化のため、平成2年「鬼と平和の里づくり推進委員会」が発足、県内外から15名の委員を委嘱し、委員長を盛岡大学学長である高橋富雄氏にお願いして進めました。

「鬼の館」は、平成4年12月19日着工、立案から7年、総事業費10億円を投じて平成6年6月1日に鬼のテーマ博物館としてスタートしました。

事業運営

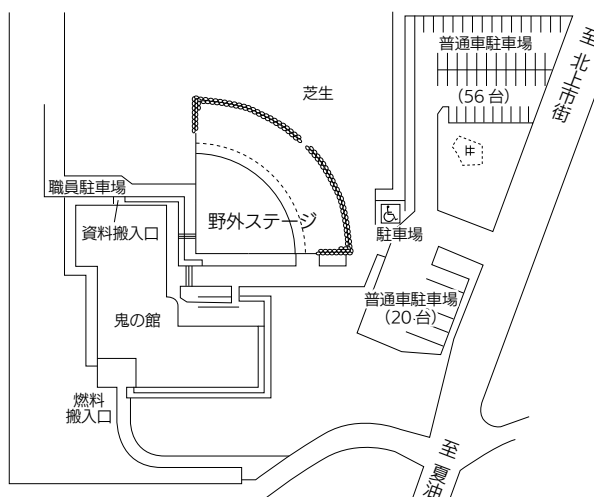


鬼の館協議会 ……管理運営活動審議機関

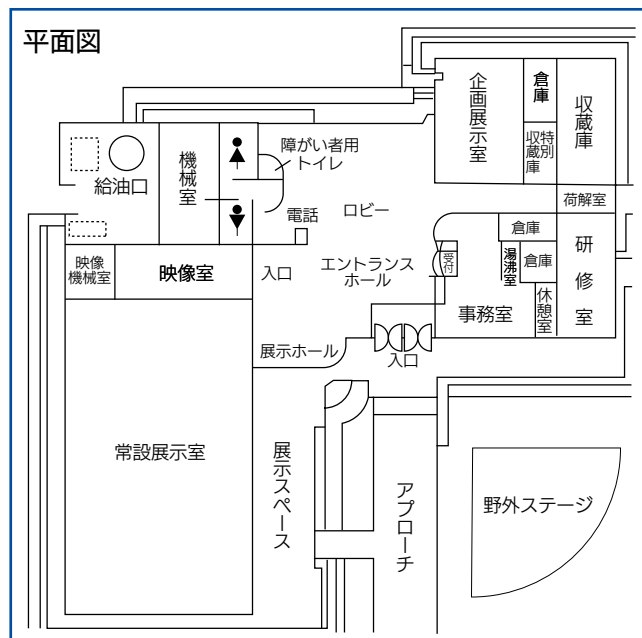
建築概要

名称 北上市立鬼の館
 位置 北上市和賀町岩崎16地割131番地
 敷地面積 18,073㎡
 規模 鉄筋コンクリート造 平屋建
 延床面積1,789.06㎡
 設計・監理 株式会社久慈建設
 工事施行者
 建築工事 高弥建設株式会社・豊國建設株式会社
 特定建設工事共同企業体
 機械設備工事 株式会社ヤエガシ
 電気設備工事 株式会社横川目電業
 展示工事 株式会社京都科学東京支店
 完成 平成6年3月18日
 事業費 1,014,318千円

配置図



平面図



各室	㎡
常設展示室	643.00
（うち映像室 103.00）	
企画展示室	108.00
収蔵庫	72.00
特別収蔵庫	18.00
事務室	82.00
休憩室	18.00
研修室	72.00
荷解室	18.00
機械室	72.00
展示スペース	144.00
その他	537.00
合計	1,789.00

主要設備

電気設備 変電設備
 受電電圧 3相3線式 6.6KV 50Hz
 変圧器容量 150KVA (3φ50KVA 1φ50KVA×2)
 空調設備 冷温水発生機 冷凍能力 70USRT
 暖房能力 241,900kcal/h
 冷却塔 冷却能力 70RT
 エアハンドリングユニット 2基
 垂直型
 風量27,000CMH、13,000CMH
 ファンコイルユニット 6列12台
 地下貯油槽 1,900ℓ
 給排水 給水 市上水道（受水槽6㎡）
 排水 合併処理浄化槽（接触ばっ気方式・120人槽）

20周年から30周年までのあゆみ

年	できごと
平成26年度 (2014～2015年)	開館20周年記念イベントとして、6月1日に「それでも剣舞 やっぱり剣舞」、6月8日に「第20回大乘神楽大会 20年ぶりの共演～雄勝法印神楽」、6月22日に「大地を踏みしめ 祈りを込めて」を開催
3月27日	英語・中国語・韓国語の多言語パンフレットを作成 鬼の館20周年記念誌を刊行
平成27年度 (2015～2016年)	
6月7日	青少年特別公演として飯豊鬼剣舞少年団と道地ひな子剣舞保存会が公演する
平成28年度 (2016～2017年)	希望郷いわて国体と東日本大震災の復興状況現地視察のために本県を訪問された常陸宮華子様、その日程途中で鬼の館を御見学
10月	希望郷いわて国体・希望郷いわて大会特別公演を計7回開催
12月17日	『映画「究竟の地 岩崎鬼剣舞の一年」上映会&三宅監督の語り』開催
	 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会特別公演
平成29年度 (2017～2018年)	「鬼ZZZの日」スタート
7月30日	入館者70万人達成
	 平成29年 鬼ZZZの日
平成30年度 (2018～2019年)	
11月6日	鬼の館に隣接する手打ち蕎麦屋の「神楽屋」が開店
11月	ナマハゲやスネカなど常設展示されている来訪神が「来訪神：仮面・仮装の神々～」名称でユネスコ無形文化遺産に登録される 風流鬼剣舞公演を開催
平成31年度 (2019～2020年)	
3月13日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため1回目の緊急事態宣言が発令される

年	できごと
令和2年度 (2020～2021年)	鬼剣舞公演3回、みちのく芸能祭り公演、わくわくイベント等が中止となる
1月31日	福豆鬼節分会を中止し 「令和3年節分～疫病退散と地域の絆～」 と題して無観客で実施  令和4年節分～疫病退散と地域の絆～
令和3年度 (2021～2022年)	鬼剣舞公演8回、大乘神楽大会、逢魔が時ナイトミュージアムなど 多くの行事が中止となる
令和4年度 (2022～2023年)	
8月6日	来館者80万人を達成
11月30日	鬼剣舞(岩崎鬼剣舞、滑田鬼剣舞)を含む 全国41件の民俗芸能「風流踊」が ユネスコ無形文化遺産に登録  来館者80万人を達成
令和5年度 (2023～2024年)	
5月	新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが5類に引き下げられたことから、 各イベントが通常開催に戻る 開館30周年記念プレ事業として、北上市内の学童保育所に通う児童が鬼の折り紙を 折って、鬼の顔をつくった「おににおにアート」を制作 「鬼剣舞体験」の後継事業として「鬼剣舞ちょこっと体験」を開始
令和6年度 (2024～2025年)	
4月	市内の学童保育所の児童が折った折り紙を使って制作した作品「おににおにアート」を展示
4月6日～6月2日	開館30周年特別ギャラリー展「岩手の民俗芸能を題材とした作品展覧会」開催
5月	エントランスホール両脇の鬼面をリニューアル
6月	開館30周年記念式典を皮切りに、各種記念特別催事を開催
8月3日～10月20日	開館30周年記念企画展「酒呑童子展」開催
11月16日～2月6日	開館30周年記念特別展「奥州舞草刀とみちのくの名刀」開催
2月2日	開館30周年記念福豆鬼節分会を開催
2月9日	開館30周年記念新春大乘神楽公演を開催
3月20日	岩崎鬼剣舞による30周年記念イベントを締めくくる特別芸能公演を開催

鬼の館開館30周年記念特別催事（6月）



●6月1日 「開館 30 周年記念式典」

令和6年6月1日（土）午前10時～
鬼の館エントランスホール

次第	出演団体等
1 礼舞	和賀東中学校 特設剣舞部
2 開式	
3 挨拶	八重樫浩文市長
4 来賓祝辞	菊池勝北上市議会議長 佐藤ケイ子岩手県議会議員 亀田善男岩崎地区自治振興協議会長
5 芸能公演	岩崎鬼剣舞 滑田鬼剣舞
6 閉式	

●6月16日 「開館 30 周年記念 大乗神楽公演大乗の会 （第 30 回大乗神楽大会）」

令和6年6月16日（日）午前9時～午後7時
鬼の館エントランスホール

- 開会のことば……大乗神楽保存会連絡協議会副会長
- 主催者あいさつ…大乗神楽保存会連絡協議会長
船田浩教育長
- 解説者紹介……八重樫幸（宿大乗神楽）
及川正男（築館大乗神楽）



次第	出演団体等
1 舞台入り	宿大乗神楽
2 七ツ釜	宿大乗神楽
3 王の目	村崎野大乗神楽
4 七五三切	築館大乗神楽
5 魔王【山の神】	村崎野大乗神楽
6 宝狂言	宿大乗神楽
7 八幡舞【地讃】	築館大乗神楽
8 蕨折り	和賀大乗神楽
9 荒神	宿大乗神楽
10 帝童	村崎野大乗神楽

次第	出演団体等
11 鐘巻	和賀大乗神楽
12 五大竜	宿大乗神楽
13 大乗の下	上宿和賀神楽
14 天王	和賀大乗神楽
15 真似三番叟	宿大乗神楽
16 正足	村崎野大乗神楽
17 天の岩戸【岩戸開き】	和賀大乗神楽
18 鬼門	築館大乗神楽
19 榊舞	和賀大乗神楽
20 権現舞【神上げ】	村崎野大乗神楽

●6月23日 「開館 30 周年記念シンポジウム」

令和6年6月23日（日）午後1時～午後4時30分

日本現代詩歌文学館 講堂

シンポジウムタイトル：「民俗芸能と鬼」



次第	出演団体等
1 開会	
2 挨拶	船田浩教育長
3 芸能公演	北藤根鬼っ子剣舞
4 基調講演 テーマ「鬼と日本人」	八木透（佛教大学教授／世界鬼学会会長）
5 芸能公演	早池峰岳神楽
6 パネルディスカッション テーマ 「鬼をめぐる現在・未来」	ファシリテーター／中嶋奈津子（鬼の館協議委員） パネリスト／八木透（佛教大学教授／世界鬼学会会長）・村上誠（日本の鬼の交流博物館館長） 阿部武司（東北文化財映像研究所所長）・小原和弘（虹色の会“絆”会長）
7 芸能公演	北上翔南高等学校 鬼剣舞部
8 閉会	

●6月29日 「第4回 北上・みちのく芸能まつり GEINO 女子公演 in きたかみ」

令和6年6月29日（土）正午～午後3時20分

鬼の館野外ステージ

出演団体等
1 飛勢太鼓
2 岩手大学民俗芸能サークルぱっけ
3 鬼柳鬼剣舞め組
4 上幅庭田植踊
5 北上翔南高等学校 鬼剣舞部
6 下似内神楽
7 飯豊神楽
8 ふるさと芸能集団 いろは



●6月30日 「集え若人～岩手の民俗芸能～」

令和6年6月30日（日）午前10時～午後3時

鬼の館野外ステージ



出演団体等
1 はばたき太鼓
2 二子鬼剣舞（3世代・保育園～少年団～大人）
3 小島崎さんさ
4 北藤根鬼剣舞
5 鬼柳鬼剣舞
6 岩泉高等学校 郷土芸能同好会
7 岩谷堂高等学校 鹿踊部
8 花巻農業高等学校 鹿踊部
9 道地ひな子剣舞
10 行山流口内鹿踊

鬼の館開館30周年記念特別催事（その他）



4月 おににおにアート完成



5月
エントランスホール両脇の
鬼面リニューアル



2月2日 福豆鬼節分会



2月9日 新春大乘神楽公演



3月20日 特別芸能公演

鬼に関する豊かな知識と教養を高めるため、平成6年度の開館当初から行っている成人向けの講座です。それぞれの分野で「鬼」について研究を重ねる専門家をお招きし、たっぷりとお話を伺います。また、移動研修では鬼に関係のある場所を訪ねます。



年度	講座日	演 題	所 属 (当時)	講師名
平成26年度	第1回 11.1	企画展「あの世」学芸員ギャラリートーク	鬼の館学芸員	後藤 美穂
	第2回 11.8	東北の貞任伝説(前編)	元岩手県立博物館学芸第二課長	阿部 幹夫
	第3回 11.22	東北の貞任伝説(後編)	元岩手県立博物館学芸第二課長	阿部 幹夫
	第4回 12.14	倉沢人形歌舞伎鑑賞		
	第5回 12.20	鬼の山車		山屋 賢一
平成27年度	第1回 10.18	子どもと芸能～二子地区の事例	二子地区交流センター長	及川 正男
	第2回 10.31	鬼剣舞と国際交流	岩崎鬼剣舞保存会 師匠	八重樫正義
	第3回 11.7	県指定無形民俗文化財ひな子剣舞の保存育成	煤孫ひな子剣舞保存会 会長	武田 正雄
			道地ひな子剣舞保存会 会長	田鎖 久一
	第4回 11.21	神楽を語る～信仰と芸能・保存継承	北上市大乗神楽保存会連絡協議会 会長	齋藤 克郎
平成28年度	第1回 2.19	第14回鬼サミット参加報告		中野 恵理子
		鬼剣舞と奈良一言主神社	鬼の館主任学芸員	後藤 美穂
	第2回 3.5	民俗芸能の鬼たち	東北文化財映像研究所	阿部武司
	第3回 3.19	四季を彩る剣舞～奥州市の事例	えさし郷土文化館学芸係長	野坂 晃平
	第4回 11.21	民俗芸能のこれから	北上市民俗芸能団体連合会 会長	和田 國男
平成29年度	第1回 2.24	暮らしに鬼を! ちいさな鬼レリーフ	鬼の館専任研究員	小原 芽衣
	第2回 3.10・11	鬼をめぐる一つの物語から作る布小物	布絵作家	大島 八寿子
	第3回 3.24	『水虎の図』をひもとく	もりおか歴史文化館学芸員	福島 茜
平成30年度	第1回 3.2	北上市史「民俗編」とは何か	盛岡大学文学部教授	大石 泰夫
	第2回 3.16	鬼が造りし大寺の系譜	北上市立博物館館長補佐	杉本 良
	第3回 3.21	鬼とよばれた東北の人々	岩手大学平泉文化研究センター客員教授	八木 光則
平成31年度	第1回 3.20	【中止】鬼女の心を探る～能楽講座～		
	第2回 3.21	【中止】鬼の心を探る～体験学習～		
令和2年度	第1回 2.27	吾峠呼世晴「鬼滅の刃」と宮沢賢治「ひかりの素足」	宮沢賢治記念館学芸員	牛崎 敏哉
	第2回 3.14	娑婆世界と仏国土	永昌寺住職	海野 義範
令和3年度	第1回 2.19	歌舞伎の鬼たち～「茨木」と「紅葉狩」の美とケレン～	盛岡大学短期大学部助教授	桜川 ちはや
	第2回 2.26	遠野物語と遠野の神々、妖怪	遠野市立博物館副主幹兼学芸員	長谷川 浩
令和4年度	第1回 2.11	早池峰信仰と山伏の神楽	花巻市博物館館長	中村 良幸
	第2回 2.25	岩手県内の不思議な動物信仰あれこれ～オオカミ・ネコ・クジラに何を祈ったのか?～	岩手県立博物館主任専門学芸員	近藤 良子
令和5年度	第1回 2.24	宗教建築に見られる鬼神像の姿と機能	建築装飾技術史研究所所長	窪寺 茂
	第2回 3.9	鬼が愛した赤い甕	岩手大学平泉文化研究センター客員教授	杉本 良
令和6年度	第1回 2.22	津軽地方における「鳥居の鬼コ」と鳥居初源考	建築装飾技術史研究所所長	窪寺 茂
	第2回 3.8	供養と芸能	佛教大学総合研究所特別研究員	中嶋 奈津子

鬼の館の屋外ステージを利用して、冬期間を除き開催しています。市内の鬼剣舞保存会による勇壮で格式高い舞や余興的なものなど6～8演目を、各公演テーマに沿った解説付きでご覧いただいています。

近年では、海外からも観覧者が訪れ、大人から子供まで幅広い年代の方々に民俗芸能を身近に感じていただける貴重な機会となっています。



平成26年度

4.27	黒岩鬼剣舞
5.3	相去鬼剣舞
5.4	鬼柳鬼剣舞め組
	黒沢尻北鬼剣舞
5.25	北藤根鬼剣舞
6.1	20周年記念公演
6.22	20周年記念公演
7.27	谷地鬼剣舞
8.14	岩崎鬼剣舞
8.24	二子鬼剣舞
9.28	口内鬼剣舞
10.5	相去鬼剣舞
10.26	御免町鬼剣舞
12.21	北藤根鬼剣舞

平成27年度

4.26	北藤根鬼剣舞
5.4	鬼柳鬼剣舞め組
	黒沢尻北鬼剣舞
5.24	鬼柳鬼剣舞
6.7	飯豊鬼剣舞少年団
	道地ひな子剣舞
6.28	黒岩鬼剣舞
7.26	谷地鬼剣舞
8.14	岩崎鬼剣舞
8.23	相去鬼剣舞
9.27	口内鬼剣舞
10.4	二子鬼剣舞
10.25	御免町鬼剣舞
11.1	滑田鬼剣舞
12.6	岩崎鬼剣舞

平成28年度

4.24	北藤根鬼剣舞
5.4	鬼柳鬼剣舞め組
	黒沢尻北鬼剣舞
5.22	鬼柳鬼剣舞
6.5	御免町鬼剣舞ジュニア
	飯豊鬼剣舞少年団
6.26	口内鬼剣舞
7.24	黒岩鬼剣舞
8.14	岩崎鬼剣舞
8.28	相去鬼剣舞
9.25	市野々念仏剣舞
10.2	黒岩鬼剣舞

10.23	御免町鬼剣舞
11.6	滑田鬼剣舞
12.4	谷地鬼剣舞
3.26	二子鬼剣舞

平成29年度

4.23	北藤根鬼剣舞
5.4	鬼柳鬼剣舞め組
	黒沢尻北鬼剣舞
5.14	黒岩鬼剣舞修行生
	飯豊鬼剣舞少年団
5.28	鬼柳鬼剣舞
6.25	黒岩鬼剣舞
7.23	口内鬼剣舞
8.14	春田打
	岩崎鬼剣舞
8.27	相去鬼剣舞
9.24	御免町鬼剣舞
10.1	谷地鬼剣舞
10.22	二子鬼剣舞
11.5	滑田鬼剣舞
12.3	岩崎鬼剣舞

平成30年度

4.22	北藤根鬼剣舞
5.4	鬼柳鬼剣舞め組
	黒沢尻北鬼剣舞
5.13	黒岩鬼剣舞修行生
	黒岩鬼剣舞スポーツ少年団
	飯豊鬼剣舞少年団
5.27	鬼柳鬼剣舞
6.24	黒岩鬼剣舞
7.22	口内鬼剣舞
8.14	岩崎鬼剣舞
8.26	相去鬼剣舞
9.23	御免町鬼剣舞
10.7	谷地鬼剣舞
10.28	二子鬼剣舞
11.4	滑田鬼剣舞
12.2	岩崎鬼剣舞
3.24	黒岩鬼剣舞

平成31年度

4.28	北藤根鬼剣舞
5.3	鬼柳鬼剣舞め組
	黒沢尻鬼剣舞

5.12	相去鬼剣舞ジュニアクラブ
	飯豊鬼剣舞少年団
5.26	岩崎鬼剣舞
6.23	黒岩鬼剣舞
7.28	口内鬼剣舞
8.14	岩崎鬼剣舞
8.25	相去鬼剣舞
	門岡念仏剣舞
9.22	御免町鬼剣舞
10.6	谷地鬼剣舞
10.27	二子鬼剣舞
11.3	滑田鬼剣舞
12.1	鬼柳鬼剣舞
3.22	(中止) 御免町鬼剣舞

令和2年度

4.26	(中止) 北藤根鬼剣舞
5.3	(中止) 鬼柳鬼剣舞め組
	(中止) 黒沢尻鬼剣舞
5.24	(中止) 岩崎鬼剣舞
6.28	黒岩鬼剣舞
7.26	口内鬼剣舞
8.14	岩崎鬼剣舞
8.23	相去鬼剣舞

令和3年度

4.25	北藤根鬼剣舞
5.3	(中止) 鬼柳鬼剣舞め組
	(中止) 黒沢尻鬼剣舞
5.23	岩崎鬼剣舞
6.27	黒岩鬼剣舞
7.25	口内鬼剣舞
8.14	(中止) 岩崎鬼剣舞
8.22	(中止) 相去鬼剣舞
9.26	(中止) 御免町鬼剣舞
10.3	(中止) 谷地鬼剣舞
10.24	(中止) 鬼柳鬼剣舞
11.7	(中止) 滑田鬼剣舞
12.5	二子鬼剣舞
3.27	(中止) 飯豊鬼剣舞少年団
	(中止) 市野々念仏剣舞

令和4年度

4.24	(中止) 北藤根鬼剣舞
5.3	(中止) 鬼柳鬼剣舞め組
	(中止) 黒沢尻鬼剣舞

6.26	岩崎鬼剣舞
7.10	黒岩鬼剣舞
7.24	(中止) 口内鬼剣舞
8.14	(中止) 岩崎鬼剣舞
8.28	(中止) 相去鬼剣舞
9.25	御免町鬼剣舞
10.2	飯豊鬼剣舞少年団
	谷地鬼剣舞
10.23	鬼柳鬼剣舞
11.3	二子鬼剣舞
11.6	滑田鬼剣舞

令和5年度

4.23	北藤根鬼剣舞
5.3	鬼柳鬼剣舞め組
	黒沢尻鬼剣舞
6.25	岩崎鬼剣舞
7.9	黒岩鬼剣舞
7.23	口内鬼剣舞
8.13	岩崎鬼剣舞
8.27	相去鬼剣舞
9.24	御免町鬼剣舞
10.1	(中止) 飯豊鬼剣舞少年団
	谷地鬼剣舞
10.22	鬼柳鬼剣舞
11.3	二子鬼剣舞
11.5	滑田鬼剣舞

令和6年度

4.28	北藤根鬼剣舞
5.3	鬼柳鬼剣舞め組
	黒沢尻鬼剣舞
6.29	30周年記念公演
6.30	30周年記念公演
7.14	黒岩鬼剣舞
7.28	口内鬼剣舞
8.13	岩崎鬼剣舞
8.25	相去鬼剣舞
9.8	二子鬼剣舞
9.22	御免町鬼剣舞
10.6	飯豊鬼剣舞少年団
	谷地鬼剣舞
10.27	鬼柳鬼剣舞
11.3	滑田鬼剣舞
12.15	岩崎鬼剣舞
3.20	特別芸能公演 岩崎鬼剣舞



北藤根鬼剣舞



口内鬼剣舞



谷地鬼剣舞

北上市と花巻市に伝わる大乘神楽は、山伏神楽の中でも修験道色が色濃く残っていることで有名です。当館では、この大乘神楽の保存・育成・普及のために、平成6年の開館当時から大乘神楽大会を開催しています。30周年記念の第30回は「大乘の会」と題して20演目を約10時間にわたって披露しました。



開催日	名称	出演加盟団体	招聘団体
平成26年 6月8日(日)	第20回大乘神楽大会	上宿和賀神楽、下条和賀神楽、 宿大乘神楽、築館大乘神楽、 長清水山伏神楽、新平神楽、 村崎野大乘神楽、和賀大乘神楽、	雄勝法印神楽(石巻市)
平成27年	第21回大乘神楽大会	上宿和賀神楽、宿大乘神楽、 築館大乘神楽、長清水山伏神楽、 村崎野大乘神楽、和賀大乘神楽	綾内神楽(北上市)
平成28年	第22回大乘神楽大会	上宿和賀神楽、宿大乘神楽、 築館大乘神楽、長清水山伏神楽、 村崎野大乘神楽和賀大乘神楽	上根子神楽(花巻市)
平成29年	第23回大乘神楽大会	上宿和賀神楽、下条和賀神楽、 宿大乘神楽、築館大乘神楽、 新平神楽、村崎野大乘神楽 和賀大乘神楽	土沢山伏神楽(花巻市)
平成30年	第24回大乘神楽大会	宿大乘神楽、築館大乘神楽、 長清水山伏神楽、村崎野大乘神楽、 和賀大乘神楽	
平成31年	第25回大乘神楽大会	北笹間大乘神楽、宿大乘神楽、 築館大乘神楽、長清水山伏神楽、 新平神楽、和賀大乘神楽	成田神楽(北上市)
令和2年	第26回大乘神楽大会	上宿和賀神楽、北笹間大乘神楽、 宿大乘神楽、築館大乘神楽、 長清水山伏神楽、新平神楽 和賀大乘神楽	
令和3年	第27回大乘神楽大会	上宿和賀神楽、宿大乘神楽、 築館大乘神楽、新平神楽、 道ノ上山伏神楽、村崎野大乘神楽 和賀大乘神楽	
令和4年	第28回大乘神楽大会	【コロナにより中止】	
令和5年	第29回大乘神楽大会	北笹間大乘神楽、宿大乘神楽、 築館大乘神楽、村崎野大乘神楽、 和賀大乘神楽	
令和6年	第30回大乘神楽大会 「大乘の会」	上宿和賀神楽、宿大乘神楽、 築館大乘神楽、村崎野大乘神楽 和賀大乘神楽、	



平成27年 権現舞



平成30年 橋引き



令和3年 七五三切り

平成26年度

特別展 4.26～8.17

顔・種種

特別展 9.6～11.16

あの世

特別展 12.13～3.15

市民開放展



平成27年度

特別展 4.25～7.5

VIVA MEXICO

企画展 7.25～11.3

鬼と大蛇と狐と蜘蛛と～岩手の昔話から

特別展 11.21～3.13

市民開放展



平成28年度

特別展 4.23～7.10

利根山光人 鬼と民話を描く

企画展 7.30～9.5

お魔け屋敷

企画展 9.5～11.6

鬼もいろいろ

特別展 12.10～3.19

市民開放展



平成29年度

特別展 4.15～7.2

収蔵資料展～剣舞編

特別展 7.22～8.27

お魔け屋敷II

特別展 9.16～11.12

泣いた赤鬼クラフト展

企画展 12.9～3.18

鬼剣舞写真帖



平成30年度

特別展 7.21～9.30

顔・種種もののけ図鑑～

錦絵の鬼・妖怪・亡霊たち

特別展 10.27～1.27

風に願いを

特別展 2.16～3.24

市民開放展



平成31年度

特別展 4.20～6.16

新収蔵資料展

特別展 7.13～10.14

おに×どうぶつ展

特別展 11.2～2.11

鬼と女のものがたり

写真展 3.1～4.5

オニの思い出



令和2年度

企画展 5.8～6.14
ギャラリー鬼の館展
企画展 7.11～10.11
もののけ図鑑2020
～川の河童、山の天狗～
企画展 11.7～2.14
地獄の歩き方、極楽への生き方
写真展 3.6～4.4
オニの思い出



令和3年度

企画展 4.24～6.20
ギャラリー鬼の館展
企画展 7.17～10.24
鬼すむ誇り～集え、北上の鬼剣舞～
企画展 11.6～2.13
鬼と食べ物展
写真展 3.5～4.3
オニの思い出



令和4年度

企画展 4.23～6.19
ギャラリー鬼の館展
企画展 7.23～11.23
北上のおまじない展
特別展 1.7～2.19
新収蔵資料展



令和5年度

企画展 4.22～6.18
ギャラリー鬼の館展
企画展 8.5～10.22
鍛冶神展
特別展 1.10～2.13
世界の仮面



令和6年度

特別展 4.22～6.18
岩手の民俗芸能を題材とした
作品展覧会
特別展 8.3～10.20
酒呑童子展
企画展 11.16～2.16
奥州舞草刀とみちのくの名刀



刊行物一覧

※平成26年度以降に刊行されたもの

分類	名称	判型	ページ数	発行日
定期 刊行物	鬼の館だより 41号	A4	6	平成26年10月15日
	鬼の館だより 42号			平成27年3月25日
	鬼の館だより 43号			平成27年10月2日
	鬼の館だより 44号			平成28年3月25日
	鬼の館だより 45号			平成28年11月30日
	鬼の館だより 46号			平成29年3月24日
	鬼の館だより 47号			平成29年10月16日
	鬼の館だより 48号			平成30年3月31日
	鬼の館だより 49号			平成30年10月1日
	鬼の館だより 50号			平成31年3月31日
	鬼の館だより 51号			令和元年10月1日
	鬼の館だより 52号			令和2年3月31日
	鬼の館だより 53号			令和2年10月1日
	鬼の館だより 54号			令和3年3月31日
	鬼の館だより 55号			令和3年10月1日
	鬼の館だより 56号			令和4年3月31日
	鬼の館だより 57号			令和4年10月1日
	鬼の館だより 58号			令和5年3月31日
	鬼の館だより 59号			令和5年10月1日
	鬼の館だより 60号			令和6年3月31日
	鬼の館だより 61号			令和6年10月1日
図録	あの世	A4	16	平成26年9月5日
	鬼と大蛇と狐と蜘蛛と	変形B5 227m×182mm	20	平成27年
	地獄の歩き方、極楽への生き方	A4	12	令和2年12月
	鬼と食べ物展		9	令和3年11月
	北上のおまじない展		10	令和4年7月
	鍛冶神展		24	令和5年10月31日
	鍛冶神展Ⅱ 奥州古鍛冶と新々刀期の刀匠		16	令和6年12月8日
	奥州舞草刀とみちのくの名刀		20	令和6年11月16日
記念誌	鬼の館開館20周年記念誌	A4	28	平成27年3月27日



平成26年度 図録
「あの世界」



平成27年度 図録
「鬼と大蛇と狐と蜘蛛と」



平成27年度 記念誌
「鬼の館開館20周年記念誌」



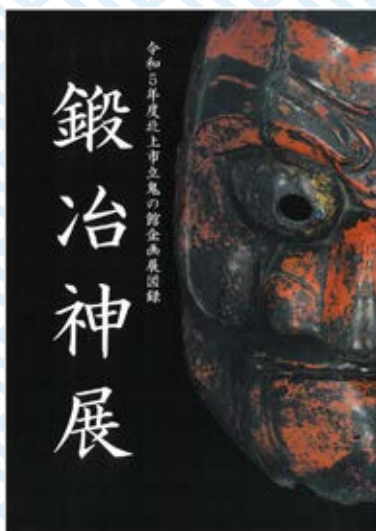
令和2年度 図録
「地獄の歩き方、極楽への生き方」



令和3年度 図録
「鬼と食べ物展」



令和4年度 図録
「北上のおまじない展」



令和5年度 図録
「鍛冶神展」



令和6年度 図録
「鍛冶神展Ⅱ
奥州古鍛冶と新々刀期の刀匠」



令和6年度 図録
「奥州舞草刀とみちのくの名刀」

子どもたちとその御家族が一緒になって楽しめる体験活動を実施しています。

子どもの日わくわくイベントでは、鬼に関連した遊び道具の作成や鬼剣舞面作りなど、楽しいイベントを多数行います。

また、北上市の民俗芸能である鬼剣舞をより多くの方々に体験していただくため、岩崎鬼剣舞保存会の皆様から御指導を受け、「鬼剣舞ちょこっと体験」を実施しています。



年度	開催日	内 容
平成26年度	5月5日	子どもの日わくわくイベント
	8月4日・6日	鬼っこわんぱく講座妖怪あんどんづくり
	1月10・17・18・25・31日、2月1日	鬼剣舞体験（全6回）
平成27年度	5月5日	子どもの日わくわくイベント
	7月31日・8月4日	鬼っこわんぱく講座妖怪あんどんづくり
	1月9・16・17・24・30・31日	鬼剣舞体験（全6回）
平成28年度	5月5日	子どもの日わくわくイベント
	7月3・10・17・23・31日、8月2日	鬼剣舞体験（全6回）
	1月7・15・21・22・29日、2月5日	7月3・10・17・23・31日、8月2日
平成29年度	5月5日	子どもの日わくわくイベント
	7月15・22・29・30、8月12・14日	鬼剣舞体験（全6回）
	1月6・13・20・27日、2月3・4日	鬼剣舞体験（全6回）
平成30年度	5月5日	子どもの日わくわくイベント
	7月14・22・28・29、8月12・14日	鬼剣舞体験（全6回）
	1月6・12・19・27日、2月2・3日	鬼剣舞体験（全6回）
	1月19・27日	鬼剣舞ちょっぴり見学・体験会
平成31年度	5月5日	子どもの日わくわくイベント
	7月14・20・27・28、8月11・14日	鬼剣舞体験（全6回）
	8月1・2日	鬼剣舞ちょっぴり見学・体験会
	1月11・18・25・26、2月1・2日	鬼剣舞体験（全6回）
令和2年度	8月1・2日	鬼剣舞ちょっぴり見学・体験会
	5月5日	子どもの日わくわくイベント
	7月18・26日、8月1・2・8・9日	鬼剣舞体験（全6回）
	8月1・2日	鬼剣舞ちょっぴり見学・体験会
令和3年度	1月16日	鬼剣舞ちょっぴり体験会
	5月5日	子どもの日わくわくイベント
	7月18・22・25・31日、8月1・9日	鬼剣舞体験（全6回）
	7月25・31日	鬼剣舞ちょっぴり見学・体験会
	12月26、1月8・10・15・22・29日	鬼剣舞体験（全6回）
令和4年度	1月10・11日	鬼剣舞ちょっぴり見学・体験会
	5月5日	子どもの日わくわくイベント
	7月16・18・24・30・31日、8月11日	鬼剣舞体験（全6回）
	7月24・30日	鬼剣舞ちょっぴり見学・体験会
	1月7・9・14・21・28日	鬼剣舞体験（全5回）
令和5年度	1月9・14日	鬼剣舞ちょっぴり見学・体験会
	5月5日	子どもの日わくわくイベント
	7月15・16・17日	鬼剣舞体験（全3回）
	7月23日	鬼剣舞ちょっぴり見学・体験会
令和6年度	1月21日、2月18日、3月10日	鬼剣舞ちょっぴり見学・体験会
	5月5日	子どもの日わくわくイベント
	7月21日、8月11日、9月1日	鬼剣舞ちょこっと体験・夏（三番庭の狂い）
	2月16日、3月9日	鬼剣舞ちょこっと体験・冬（刀剣舞の狂い）

平成11年度に、文部省「親しむ博物館事業」の委託を受け、それまでの子供向け事業を「鬼ッズ・プレイミュージアム」として体系付け、発展させました。鬼について、遊びを通じて体験的に理解を深めるのが特徴です。年間を通じて体験できる張り子面づくりは、平成14年に、北上市の出前講座にも取り入れられ。幅広い年層の方々に、それぞれの場所で体験していただけるようになりました。



年 度	講座名	参加者数
平成26年度	4. 1～9. 30	
	・和紙面作り	参加者227人
	・出前講座4件	参加者110人
	・夏休み：鬼剣舞面づくり	参加者24人
	・冬休み：魔よけふうりんづくり	参加者20人
	・夏休み：まんげきょうづくり	参加者16人
	10. 1～3. 31	
	・和紙面作り	参加者79人
	・出前講座2件	利用者40人
	・冬休み：妖怪カレンダーづくり	参加者18人
平成27年度	4. 1～9. 30	
	・和紙面作り	参加者329人
	・出前講座4件	参加者237人
	・夏休み：鬼剣舞面づくり	参加者13人
	・夏休み：冷え冷え妖怪グラスづくり	参加者17人
	・夏休み：魔よけ鬼うちわづくり	参加者29人
	10. 1～3. 31	
	・和紙面作り	参加者88人
	・出前講座4回	利用者67人
	・冬休み：鬼剣舞面づくり	参加者13人
平成28年度	4. 1～9. 30	
	・和紙面作り	参加者278人
	・出前講座5件	参加者227人
	・ちょこっと工作：うちわづくり	参加者89人
	・ちょこっと工作：キーホルダーづくり	参加者4人
	・ちょこっと工作：缶バッジづくり	参加者44人
	10. 1～3. 31	
	・和紙面作り	参加者82人
	・出前講座(2回)	参加者34人
	・ちょこっと工作：キーホルダーづくり	参加者6人
平成29年度	4. 1～9. 30	
	・和紙面作り	参加者220人
	・衣装体験	参加者79人
	・夏休み：鬼ッズウォーターライト	参加者21人
	・夏休み：鬼剣舞面づくり	参加者14人
	・夏休み：親子でえがく子ども鬼	参加者4人
	10. 1～3. 31	
	・和紙面作り	参加者67人
	・衣装体験	参加者55人
	・冬休み：鬼ッズ版画カレンダー	参加者19人
平成30年度	4. 1～9. 30	
	・和紙面作り	参加者152人
	・衣装体験	参加者80人
	・夏休み：ひえひえまよけうちわ	参加者5人
	・夏休み：鬼剣舞面づくり	参加者10人
	・夏休み：ギザギザオニのあしアート	参加者15人
	10. 1～3. 31	
	・和紙面づくり	参加者57人
	・衣装体験	参加者52人
	・冬休み：鬼ッズチェアづくり	参加者15人

年 度	講座名	参加者数
平成31年度	4. 1～9. 30	
	・和紙面づくり	参加者167人
	・衣装体験	参加者97人
	・夏休み：和紙面づくり	参加者14人
	・夏休み：鬼の影絵遊び	参加者5人
	・夏休み：和紙で作るオニのツノ飾り	参加者1人
	10. 1～3. 31	
	・和紙面づくり	参加者90人
	・衣装体験	参加者30人
	・冬休み：鬼剣舞面づくり	参加者11人
令和2年度	4. 1～9. 30	
	・和紙面づくり	参加者77人
	・衣装体験	参加者4人
	・夏休み：和紙面づくり	参加者8人
	・夏休み：親子で鬼の絵皿をつくろう	参加者10人
	・夏休み：疫病退散、妖怪壁飾りづくり	参加者8人
	・出前講座1件	参加者5人
	10. 1～3. 31	
	・和紙面づくり	参加者79人
	・衣装体験	参加者14人
令和3年度	4. 1～9. 30	
	・和紙面づくり	参加者60人
	・夏休み：和紙面づくり	参加者8人
	・夏休み：鬼剣舞切り絵体験	参加者6人
	・夏休み：疫病退散、アマビエ風鈴づくり	参加者5人
	10. 1～3. 31	
	・和紙面づくり	参加者135人
	・衣装体験	参加者13人
	・冬休み：和紙面づくり	参加者7人
	・冬休み：鬼雪グラスづくり	参加者5人
令和4年度	4. 1～9. 30	
	・和紙面づくり	参加者38人
	・衣装体験	参加者10人
	・夏休み：和紙面づくり	参加者6人
	・夏休み：鬼ッズ万華鏡づくり	参加者10人
	・夏休み：鬼まめしぼりづくり	参加者7人
	10. 1～3. 31	
	・和紙面づくり	参加者55人
	・衣装体験	参加者11人
	・冬休み：和紙面づくり	参加者8人
令和5年度	4. 1～9. 30	
	・和紙面づくり	参加者14人
	・衣装体験	参加者20人
	・夏休み：和紙お面づくり	参加者6人
	・夏休み：鬼ッズうちわづくり	参加者7人
	10. 1～3. 31	
	・衣装体験	参加者10人
	・和紙面づくり	参加者104人
	・冬休み：和紙面づくり	参加者4人
	・冬休み：厄除けしめ縄リースづくり	参加者7人
令和6年度	4. 1～9. 30	
	・衣装体験	参加者9人
	・和紙面づくり	参加者59人
	・夏休み：鬼剣舞和紙お面づくり	参加者10人
	・夏休み：張り子鬼づくり	参加者8人
	10. 1～3. 31	
	・衣装体験	参加者3人
	・和紙面づくり	参加者184人
	・冬休み：和紙面づくり	参加者10人
	・冬休み：ミニどうぶつ面づくり	参加者14人

鬼の館の福豆鬼節分会は、地元・岩崎地区の方々の協力のもと地域一丸となって行っています。小さいお子さんから大人まで一緒に楽しめるゲームや、「福は内！鬼も内！」の掛け声で行われる福豆まき、恵方の方角を向いて一斉に恵方巻を食べるなど盛りだくさんの催しです。年々参加者も増え、地域の冬まつりとして着々と根付いています。



令和7年

年 度	名 称
平成26年度 (H27. 2. 1)	福豆鬼節分会
平成27年度 (H28. 1. 31)	福豆鬼節分会
平成28年度 (H29. 2. 5)	福豆鬼節分会
平成29年度 (H30. 2. 4)	福豆鬼節分会
平成30年度 (H31. 2. 3)	福豆鬼節分会
平成31年度 (R2. 2. 2)	福豆鬼節分会
令和2年度 (R3. 1. 31)	令和3年節分 ～疫病退散と地域の絆～（無観客）
令和3年度 (R4. 1. 30)	令和4年節分 ～疫病退散と地域の絆～（無観客）
令和4年度 (R5. 1. 29)	令和5年節分 ～疫病退散と地域の絆～（無観客）
令和5年度 (R6. 2. 4)	福豆鬼節分会
令和6年度 (R7. 2. 2)	福豆鬼節分会



平成31年

資料受入状況

年度 分類	和暦	～H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
	西暦	～2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
美術		105	3	1				1		1	1	2
考古		10										
民俗		265	25	3	1	5	2		1	2		
民族・人類学		269		(3)	1			1				17
その他		501		111		1			4			3
図書資料		1,911	10	3	4	4	3	169	55	62	82	53
視聴覚資料		227	27	16	2	15	1	7	8		7	5
計		3,288	65	131	8	25	6	178	68	65	90	80
累計		3,288	3,353	3,484	3,492	3,517	3,523	3,701	3,769	3,834	3,924	4,004

※データは「北上市統計書」及び「北上市の概要」による

令和4年度購入資料



観音霊験記秩父巡礼 第二五番
久那岩谷山久昌寺奥野の鬼女

令和5年度寄贈資料



インドネシアの面



ワヤン・クリ グヌンガン

利用状況

年度	開館日数	有料（個人・団体・共通）				無料					計				
		小・中	高校	一般	小計	幼児	小・中	高校	一般	小計	幼児	小・中	高校	一般	小計
～H25	2,825	45,028	5,800	405,983	456,811	3,139	39,880	2,149	125,747	170,915	3,139	84,908	7,949	531,730	627,726
H26	331	726	74	6,693	7,493	1,298	1,589	74	9,763	12,724	1,298	2,315	148	16,456	20,217
H27	333	815	117	6,915	7,847	1,457	1,705	3	8,575	11,740	1,457	2,520	120	15,490	19,587
H28	330	856	64	6,454	7,374	1,944	2,555	21	13,406	17,926	1,944	3,411	85	19,860	25,300
H29	331	559	90	6,290	6,939	2,741	2,044	68	11,299	16,152	2,741	2,603	158	17,589	23,091
H30	329	550	61	7,010	7,621	2,297	2,369	42	12,042	16,750	2,297	2,919	103	19,052	24,371
R1	331	1,006	105	8,823	9,934	2,310	1,661	25	12,263	16,259	2,310	2,667	130	21,086	26,193
R2	317	730	74	6,343	7,147	1,567	841	37	4,594	7,039	1,567	1,571	111	10,937	14,186
R3	331	672	101	5,998	6,771	1,675	1,380	18	3,568	6,641	1,675	2,052	119	9,566	13,412
R4	318	1,110	88	8,160	9,358	1,822	1,221	32	5,481	8,556	1,822	2,331	120	13,641	17,914
R5	331	1,270	195	11,646	13,111	1,892	1,701	30	11,564	15,187	1,892	2,971	225	23,210	28,298
計	6,107	53,322	6,769	480,315	540,406	22,142	56,946	2,499	218,302	299,889	22,142	110,268	9,268	698,617	840,295

改修工事

平成27年度 (2015)	空調機温湿度デジタル指示調節計交換修繕工事
平成29年度 (2017)	冷却水用薬注装置設置工事
平成30年度 (2018)	浄化槽仕切板外修繕工事
	屋根塗装工事
令和元年度 (2019)	監視カメラ更新工事
	冷却水ポンプ外更新工事
令和2年度 (2020)	屋外ステージ舗装改修工事
	トイレ便器洋式化工事
令和4年度 (2022)	給水設備改修工事
	冷温水機修繕工事
令和5年度 (2023)	照明LED化工事
令和6年度 (2024)	企画展示室内装修繕工事

北上市立鬼の館協議会歴代委員

氏名	所属(当時)	(年度)										
		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
和田 国男	岩崎鬼剣舞保存会長											
菊池 章子	水神温泉山照園取締役社長											
斎藤駿一郎	郷土歴史研究家											
高橋 文	元いわさき学童保育所事務局長											
及川 一	岩手県立農業大学校講師											
安岡由紀子	いわさき小学校長											
大沼 英生	いわさき小学校長											
八重樫俊一	岩崎鬼剣舞保存会長											
中村 幸子	いわさき小学校長											
小田嶋恭二	元北上市教育部文化財課長補佐											
亀谷 琢	いわさき小学校長											
中嶋奈津子	佛教大学総合研究所特別研究員											

北上市立鬼の館歴代館長

		(年度)																															
氏名	所属 (当時)	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	
門屋 光昭	盛岡大学教授																																
力丸 光雄	岩手医科大学名誉教授																																
高橋 勝	市職員																																
高橋 政行																																	
菊池 清満																																	
松田 訟盟																																	
高橋 博																																	
高橋 春男																																	
島津 秀仁																																	
小田島 孝																																	
後藤 幸生																																	

北上市民憲章

あの高嶺

鬼すむ誇り

その瀬音

久遠の賛歌

この大地

燃えたついのち

ここは北上

北上市立鬼の館 開館30周年記念誌

令和7年3月31日発行

北上市立鬼の館

北上市和賀町岩崎16地割131番地

TEL0197-73-8488／FAX0197-73-8508

印刷 株式会社フジサキ

本誌の写真・記事の無断転載を禁じます。

